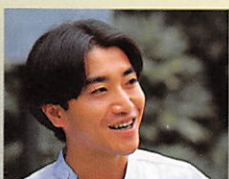


ZOOM UP



日本歯科大学
THE NIPPON DENTAL UNIVERSITY

1994.No.87



歯界展望

国立では東大、京大、広大に次ぐ学生数11,250名プラス大学院生1,500名を抱える日本有数の総合大学である千葉大学。その頂点に立たれる吉田学長が医学部出身と聞き、今号ご登場頂いた。

西千葉駅前に建つキャンパスは、都心からほど近くに位置しながら、広大な敷地と豊かな緑に囲まれた好立地下にある。心なしか行き交う学生も伸び伸びとして明るい印象を受ける。

「千葉大学は現在も亥の鼻(千葉市)、松戸と西千葉の3つのキャンパスに分かれておりますが、医学部、看護学部、園芸学部以外の6学部と大学本部がここに位置しております。当学長就任前は私は医学部にいましたが、先々代の学長の命により、木更津航空隊からヘリコプターを借り、空から各キャンパスの自然環境について調査したことがありま



千葉大学長

吉田 亮

す。此処は戦時中東大の第2工学部があったところですが、辺りは一面スキ野で樹木がほとんどない状態でした」と笑って話されるが、現在の美しいキャンパスを見るものにとっては夢物語を聞くようだ。

お生まれは長野県・松本市郊外の池田町、現在の安曇野。お祖父様が将来の教育を考え、子供達全員を都会地へとの方針から学

長も千葉県・市川市へ移転。現両国高校から千葉医科大学(現千葉大医学部)へと進む。ちなみに吉田家は、お父様は他の職業に就かれたが、代々続く医家で、ご親戚には、一度では覚えられない程、キラ星のごとく日本の医療界でご活躍された方々が並ぶ。

——小児科を選ばれたのは? 「もともと子供好きであったことと、科目の中で一番簡単そうにみえたんですよ(笑)。でもやってみたら、今とは違って点滴等も終わるまで子供の腕と管を持っていたり、重病にかかっている大人と違って何も言いませんから苦労の連続。すっかりあてがはずれました(笑)。しかし子供は日々発育・発達して行きますから、そうしたたのしみや喜びはありましたね」。今年70才を迎えられたといわれるが、小児科を選ばれただけあって(?), いまだ童顔、笑顔がやさしい学長である。「昭和43年まで小児

科の臨床医をやっておりましたが、当時各地で公害問題が起こったことから、公衆衛生学教室に移されて、それに付随する喘息の研究等に携わることになりました」。略歴をご覧になってもおわかりのように、地元千葉を初めとして、東京都における大気汚染の対策委員会の会長としてもご活躍されておられるご様子。——現在、地球にやさしく、と言うことで各界が公害、環境破壊防止対策を進めているようですが…。「私は地球規模で公害を考えることも大切ですが、もっと地域に根づいた、住民1人1人が周辺環境に気を配る心を育てることが必要なのではないかと思えます。現在、当校でもキャンパスの改造で木々を移植したり、公園を作ったりしておりますが、そうした

ことが学生間でも論議され、環境を守る心を芽生えさせることが最も良いことだと思っております」。——高齢化社会を迎え、各私立大学の医学部では医療と経営の狭間で苦心されているようですが、国立はあまり関係ない? 「とんでもありません。国立は国の決められた予算・方針でやらねばなりませんから、むしろ大変ですよ。その点私立医大は自己努力によって改善の余地が残されているだけいいと思いますが(笑)。ただ、本来医学教育がもつ目的と経済を両立させることは相

反する部分が多く、難しい問題点を含んでいるのです。私立医大の理事長、一度やってみたいですね(笑)。女子医大の吉岡学長、いつお会いしても意気軒昂でいらっしゃる。うらやましいですよ(笑)」とユーモアを交えながらのお話。学生間の人気も高いことであろう。

——今夏、6年勤められた学長を退任されるようですが、ふり返っての人生は? 「ご存知のように臨教審、大学審議会の日本の高等教育のあり方についての問いかけに答えて、4~5年前から各大学は改革につとめております。それを達成するために、ここ4年間は全力投球して参りましたが、ほぼ骨格が決まりましたので、これからはそれに沿って先生方が一丸となって実行されることかと思えます。諸先輩に恵まれ、実力以上に充実した人生を歩むことが出来たと有り難く思っております」。——学長ご自身の歯については? 「歯はもともと良い方で、今でもほとんど自分の歯で噛めておりますが、近頃下顎の奥がちょっと…。以前当校の講師をされていた高原先生が千葉の星久喜で開業されておりますので、そこで治してもらっておりますが、やっぱり歯の治療は、以前に較べずっと楽になっているとはいえ、あまり気持ちの良いものではありませんね(笑)」と正直なお話。——退官後は? 「さあ! 少しのんびりしようと思っておりますが、遊び下手ですから…。同じ敷地内に住む娘の孫が一番喜ぶんじゃないかと思えますよ(笑)」。格式ばらず、誰にでもユーモアとやさしさをもって話される。医科出身で常に病める人の心を身をもって考えられて来られた方だけに…。人間味豊かな親しめる学長である。

●略歴

- 大正13年 長野県・安曇野に生まれる
- 昭和23年 千葉医科大学卒業
- 昭和32年 千葉大学講師(医学部・付属病院小児科学)
- 昭和43年 千葉大学教授(医学部公衆衛生学講座)
- 昭和45年 千葉県公害対策審議会会長
- 昭和51年 東京都公害衛生対策専門委員会委員
- 昭和59年 千葉大学医学部長
- 昭和59年 文部省・医学教育の改善に関する調査研究協力者会議委員
- 昭和62年 東京都大気汚染健康影響サーベイランス検討委員会会長
- 昭和63年 千葉大学学長に就任
- 平成2年 日本医師会・医学教育委員会委員
- 平成3年 大学設置・学校法人審議会委員

私と日本歯科大学

学長

中原 泉



■プロフィール

昭和16年2月 神奈川県・鎌倉市に生まれる
昭和40年3月 日本歯科大学卒業
昭和49年4月 日本歯科大学教授・新潟歯学部
昭和54年4月 日本歯科大学新潟歯学部長
(平成3年まで)
昭和62年4月 日本歯科大学新潟短期大学学長
(平成3年まで)
平成元年9月 医の博物館館長
(日本歯科大学新潟歯学部内)
平成3年4月 日本歯科大学学長

東京・飯田橋駅前に建つ、我が国の歯科医療の最高設備を誇る、昭和62年に開設された日本歯科大学附属病院を左手にみて徒歩で約5分。本部・東京校舎も4年前に新築されたとあって、これ又歯科大学のパイオニア校にふさわしい堂々たる建物。

約束の時間より10分程早かったにも拘らず、「お待たせ致しました。どうぞこちらへ」と通された学長室。5年程前、日本歯科大学新潟歯学部長としてご登場頂いたが、いつお会いしても爽やかで丁寧、明るい言動が印象的だ。

現在は皆様もご存知のように実兄中原爽理事長が、日本歯科医師会会長にご就任されたことから、学長として東京と新潟の両学部を往復する。文字通り東奔西走の毎日のご様子である。

—東京と新潟。学生さんにも違いがありますか?「都会と地方。それぞれの良さがありますが、概して新潟校の方がちょっとおとなしい感じがしますね。私も東京30年、新潟20年と過ごしましたが、住みやすさは人口50万~100万位の都市が丁度良いみたいです。東京は大きすぎて(笑)」。中学・高校時代は文学者を志し、現在も人文的研究をされる方だけあって、人間同士の親密度の高い地方が性に合っておられるのかな、と感じる。

—当校では最終学年の臨床実習において、どんな方法を?「臨床実習には2つの方法がありまして……。1つはローテイト方式といいまして、各科を一定期間ごとに学生が巡る方法と、セントラル方式といいまして、学生を1ヶ所に集めて、そこに各科の先生が来て、各々のケースに沿って教える方法があります。あとの方法ですと、1人の患者さんを最後まで面倒をみる事が出来ますから、機能的に作用すれば、前者より高いレベルでの実習を得られることになると思います。東京の歯学部は現在この方法で実習をやっております」。

—数年前文部省から大学改革案が出されましたが、当校は?「ええ、本学も3年前から新カリキュラムを実施しています。現在はその過渡期ですが、本学の場合は、20年前から6年一貫制教育をやってきました

から、部分的な改革で済みました。

—以前、中原爽学長時代、本学は「国際化」と「生涯学習」に主体を置いて教育されているとお話でしたが、その後の発展はいかがですか？「現在は13校、国別では11ヶ国に姉妹校がありますが、どの学校もその国の最も古い伝統校ですので、高いレベルでの交流が出来ます。又、その姉妹校同士が国際姉妹校連合(I.S.O.H.)というユニオンに加盟しており、知らない大学同士でも、交流を始めることが出来るという、タテとヨコを結んだユニークな関係になっております。今後も各国との交流活動を続け、世界と日本の歯科界の架橋となるべく努力していきたいと思っております」。

「生涯学習の方は、20年程前から実施しておりますが、1つはポスト・グラジュエートコースと称し、全国の卒業生に母校に来ていただき、大学の施設設備を使って、デモ、実習、見学等を行います。毎年、東京と新潟を合わせて5コースを組んでいます。もう1つは地区研修会。これは年2回、本学から講師が各県に出向き、講演やシンポジウムを行います。今年は富山と仙台で開催しましたが、両会場とも、200名以上の先生が集まり、熱心に研修されていました。さらに2年おきに開く国際研修会です。世界の姉妹校と交互に研修会を行っています。この3つが本学における卒後研修です」。

構えたところが全くなく、友人感覚で話される会話が気持ちいい。明治40年、お祖父様にあたられる中原市五郎氏が創立されてから3代目。若き統率者であるが、カラリと明るいご返答は、おそらく就任4年目の歯学部部の学生間でも人気があることであろう。

—新潟歯学部と合わせて歯学部長と学長生活15年、ふり返っての人生は？「人生はわからないものですね。まさか新潟と東京を往復する生活になるとは、夢にも思わなかったですよ(笑)。でも大学に残ったことは、未知の分野の研究を自分で探し出し打ち込んで行ける。生き方としての価値は、十分あったと思っています。それと学生の教育ですね。入学時はまだ高校生の面影が残る学生



が、卒業時になると立派な医者となり、しっかりとした足どりで巣立って行く。教える側にとっては、教師冥利に尽きると言えますね。自分の性格に合った職業だったと思っております」。

—新入学生に話される将来への心構えは？「卒業時点での到達目標として話をしておりますが、それには3つあります。まず第一は医療人たれ！、第二は国際人たれ！、第三は教養人たれ！、ということです。第一の医療人たれの意味は、最新最高の医学、基礎的な医療技術、それに医の倫理観を身につけること。この3つを合わせ持たねば、医療人とは呼べない、ということです。第二は、益々国際化される中において、今後の歯科医師は総ての面で国際人として通用し、活躍して行ける人間として自身を磨かねばいけない。第三は、歯科医師は社会的なスペシャリストですから、自分の蓄えたものを一般の方々に啓蒙し指導できる教養ある人間に育て欲しい」。

入学後、折りにふれて話すことは、まず本を読み、ということです。むろん自身の専門外の本ですが、本は色々な世界や生き方を教えてくれます。それと先の国際人につながりますが、英語を学べ、ということです。私は海外留学の経験がないので、今でも毎週2回、東京と新潟で昼休みに近くの英会話学校に通っていますが、若い時から英語を学ぶことは、将来必ず役に立つと思います」。4年ごとに開催される日本歯科医学会総会の第18回会頭をつとめる学長からの温かい言葉である。

尚、同総会は平成7年11月25日～27日の3日間、「デンタル・オリンピック'95——21世紀の歯科医療」をメインテーマに、帝国ホテルにおいて開催される。読者の皆様方も当日はぜひ、日本の歯科医学の粋を集めた同総会にお出かけ下さい。

本題を忘れたが、おそらく21世紀を目指す中原学長の願いも、今後はこの一点に絞られていってまいろうと想像した次第である。



社団法人

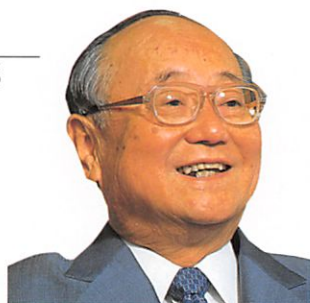
兵庫県歯科医師会

新神戸駅より、神戸と言えば誰でもすぐ思い浮かぶ異国情緒豊かな異人館通り。
 県歯科医師会館はその通りを抜け車で約10分、諏訪山公園に面した街の中腹に建っている。
 白いタイル貼りの5階建の会館は、隣に市歯科医師会館、通りを隔てて県歯口腔保健センターと、
 文字通り兵庫県民約550万人の歯の健康を守る、会員約2,800人の殿堂にふさわしい建物である。
 通された役員室の窓から三宮、元町の繁華街とそれに続く神戸港が一望のもとに見渡せる。
 旅行者には坂の多いロマン漂う美しい街だが、住民にとっては日々の昇り降りが大変かもしれないな、
 と想像している中に“やあ、いらっしやいませ”と表れた会長以下4人の役員の方々。
 英保副会長は他の会議に出席とあってご不在であったが、皆さん丁寧にこやか、紳士であられる。
 尚、村井会長は皆様もご存知のように日歯の第2次中原執行部の発足とともに
 日本歯科医師連盟の第1副会長に再任された方である。

- 会 長／村井 俊郎
- 副 会 長／長濱 禎昭
- 副 会 長／中塚 裕
- 副 会 長／英保 英一
- 専務理事／和田 透
- 常務理事／村瀬 進
- 常務理事／大頭 孝三
- 常務理事／橋本 猛伸
- 常務理事／川越健一郎
- 理 事／嘉ノ海昭吾
- 理 事／川口 豊
- 理 事／登利 俊彦
- 理 事／豊川 輝久
- 理 事／宗本 匡由
- 理 事／小林 正和
- 理 事／澤田 隆
- 理 事／村上 英夫
- 理 事／幸田 洋一
- 理 事／森 茂
- 常務監事／志築 照和
- 監 事／西田 真和
- 監 事／小川 靖彦



会 長
村井俊郎



会長：当会の設立は明治31年、今年には96年目に入りますから全国でも古い方ではないでしょうか。ご存知のように当県は摂津、播磨、丹波、但馬、淡路とそれぞれが昔から環境を異にした、日本の縮図のような県で、面白いことに人口やそれに対する歯科医の会員数、保健所数もほぼ $\frac{1}{20}$ なんです。都道府県47の中で $\frac{1}{20}$ ということは、その規模も大きく、本会への入会者も毎年100人近い数になります。が、山間と都会と海辺の街という違った環境下にありながら、非常にまとまりがあって、それは他県がうらやむ程、自慢できますよ。人口当たりの歯科医師数も全国平均とほぼ同じ、2,000人を少し切っておりますが、私は、これは日本の社会が年々成熟していくように、それに伴う医療も高度化、密度の高い医療を提供していくのが当然で、又世の中の進歩とはそういうものであると考えています。自由競争の中で、各自の知識や技術を磨き、地域住民のために、如何に奉仕することが出来るかを考える。そうした日々の努力が自身の向上につながり、更に大きな信頼へとつながっていくのではないかと思います。

副 会 長
長濱禎昭



長濱：私は主に学術部門を担当しておりますのでその現状を…。毎年開かれております県歯科医学大会におきましては、各地区の会員が日常臨床で経験されたことを

診療のかたわらまとめられて、研究発表を行います。演題が30題近くにもなり、朝早くから夕方までビッシリ詰まった内容ですが、皆さん研修意欲が強く、熱心にメモを取っております。7月には講師を招き講演、秋にも予定しておりますが、毎回何百人もの出席者数で、ちょっと自慢話になってしまうかも知れないが、勉強・研修には意欲をもっておりますね。

副 会 長
中塚 裕



中塚：私は公衆衛生と医療管理の担当ですが…。当県の「在宅寝たきり老人歯科保



健推進事業」は昭和63年度に伊丹市が国の指定モデル地区になったのに伴い、同年に4地区を実施地区に、更に平成元年に3地区、翌年3地区が加わり、現在11地区で事業が展開されております。そして65才以上の人口は約65万人、その内寝たきり老人は約8,000人と見込まれておりますが、実施地区においては、ほぼ全員をカバーし、住民の好評を得ているようです。次に産業歯科保健活動については、産業保健協議会にも正式なスタッフとして2年前に加入し医師会と労働基準局、労働基準連合会と四者で労働者の保健問題を協議しております。また、県下36地区の会員の方々が、皆さん非常によく協力して頂けて、順調に経過しているようです。その他毎月

発行のタブロイド4頁の「兵衛広報」や「歯界月報」の発行、県民の為の小誌「はっぴい」の編集等、広報担当の先生方が、多忙の中、熱心に活動してくれまして、私達執行部も感謝しております。

Q：和田専務理事。総て順調のようですがお悩みはないのですか？

専務理事
和田 透



和田：お陰様で総てスムーズです。大切なのはこれ等の事業も社会の変化に対応し、ニーズに対して柔軟に対処する姿勢が必要なのではないかと思えます。会員になることによって得ることが出来るメリット——福祉年金の充実、例えば35才で5口加入した場合毎月5万円で10年間掛けますと、65才時で一時金500万円。同年から受取る年金は、22.5万円で国民年金と合わせると毎月35万円となります。又万一に備えての医事処理基金。これも民間とタイアップではなく、会員の方々が積み立てたお金を活用し、県歯会のみで行っております。その他30年前に建てた歯科医師とその家族の為の保養所(貴和荘)の利用等、自身の負担もあるけれど、それだけの福利厚生制度や又将来に対するの研修・勉強の機会も多い。現在県下の非会員数は50名足らずであることが、そうした事柄をよく理解してくれている証なのではないかと思っています。

会長：先人が長い間かかって一步一步積み上げて来た有形無形の財産に、私達は更に一段積み上げなければならないと思っております。世の中は毎日に高度化しております。歯科医師に対しての住民の期待も更に高まることかと思いますが、とにかく、本職——歯科医師としての勉強を精一杯やっていたら、私達の将来は必ず明るい展望が開ける。心配はない、と私は断言出来ますね。

オサダの商品
〈お元気ですか〉

島津歯科医院

岩手県盛岡市夕顔瀬町7-14

院長 島津 富
副院長 中里登紀子



盛岡駅・北口を出てそのまま線路に沿って北へ5～6分。ご紹介の島津歯科医院はその道を右に折れた静かな住宅街に建っていた。今年3月、それまでは市街を貫く県道に面し開業されていたが、通り一本入った現在地に移築されたとあって、内外観とも真新しく現代的な診療室に仕上がっている。

院長は終戦まもない昭和24年に大阪歯科大学をご卒業。その後鉄道病院に勤務され、盛岡→米子→盛岡→高松と20余年赴任生活を送られたため、開業は昭和46年と遅い。現在は副院長であるご



息女登紀子さんを片腕に悠々と診療生活を送られているご様子だ。副院長である登紀子先生は明海大学(第9期生)を卒業された後、地元岩手医科大学歯学部第2補綴科で3年間研修生活をされお父様のもとへ。今年10年を迎えられたと言われるから、そろそろ中堅医師として患者さんとの信頼関係も厚くなる年齢。お二人の会話も温かい交流が感じられ、気持ちいい。

尚、島津家は御祖父様から続く歯科医師一家で、実家である岡山では、現在お兄様と甥子さん、更に、副院長のご主人(岩手医大放射線科勤務・現在留学中)、妹さん(岩手医大歯学部・小児歯科専攻、御主人大黒英貴さんも歯科医師で加藤病院に勤務)ご夫婦と。皆さん各地で歯科医師としてご活躍中のようである。

——高松で退職され、又盛岡に来られたのは？「最初の勤務地が盛岡だったものですから、子供達も慣れていたのでしょね。実家

の岡山にも近く、私はその辺りだと思っていたんですが、子供達が盛岡に行こう行こうと…。ここを永住の地として決めました(笑)。患者さんも鉄道勤務の頃からの方が今でも多いんですよ。——副院長、親子の断絶は？「心の中はわかりませんが、父が譲歩してくれますので、ほとんど感じておりません。でも内心イライラしているんじゃないかしら(笑)。出産を機に大学をやめ、父のところに帰って来ましたが、スタッフや患者さんに助けられ、ここまで来ることが出来たと感謝しております。」「歯科医になった2人の娘は他の姓になりましたので、名前はなくなりますが、近頃は息子さんでも跡を継がないところが多いと聞きますし…。でも娘は心の中はわかりませんが、我慢しても私につき合ってくれますから、かえって良かったと思っていますよ(笑)」と幸せそうな院長。

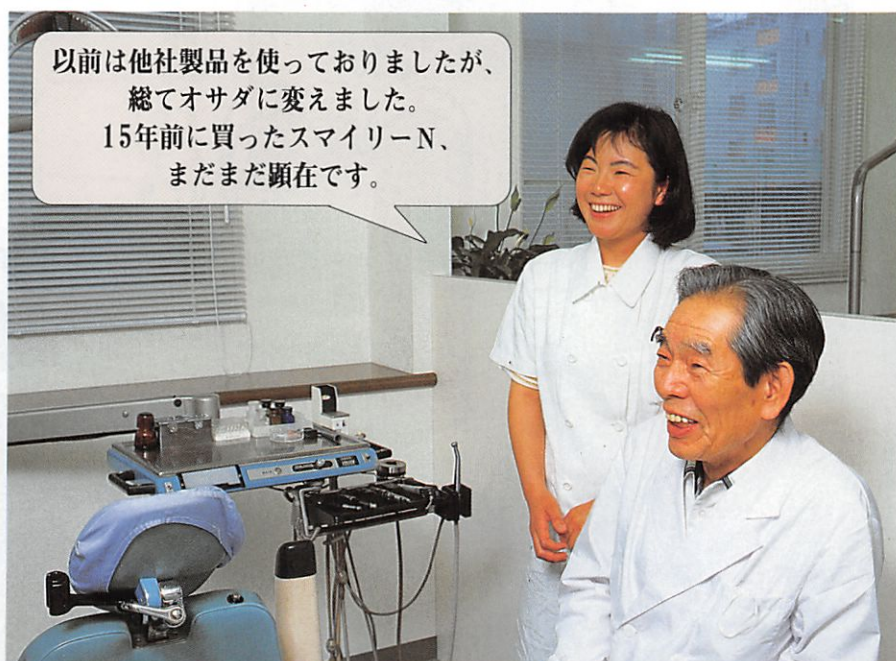
——やはりお父様にはかなわない？「ええ、特に義歯ではとてもかないません。とにかく義歯調整の患者さんはほとんどありませんから。まだまだ勉強不足です(笑)」。

日射し一杯の窓に沿ってスマイリーN・1680タイプが3台と、最新のノーベルタイプが並ぶ。Nは既に15年の月日がたつが、まだまだ現役、大活躍中である。「以前は他社製品を使っておりましたが、お年寄りの患者さんには不向きで、総てオサダのユニットにかえました。故障も少なく、使いやすいし、非常にいいですよ。」「今度、このノーベルを入れましたが、スマ



ートでお掃除もしやすいし、いいですね。まだ入れたばかりなので、父は慣れないらしく、ちょっと抵抗があるみたいですが(笑)」と副院長。——

2代目として今後は？「自分だけで先走らず、地域の医師として患者さんのニーズをよく聞き、それに応えられる歯科医でありたいな、と思っています」。明るい印象の副院長とスタッフ一同。温厚誠実な院長。患者さんにとっても、信頼できる心地良い診療室であることだろう。



以前は他社製品を使っておりましたが、
総てオサダに変えました。
15年前に買ったスマイリーN、
まだまだ顕在です。



フォレスト デンタル クリニック

大分県大分郡湯布院町大字川上1181-14

院長 松本進一



日田市で縦貫高速道路を降り、車は国道210号線を耶馬田英彦山国定公園方面に向かって真っすぐに入っていく。その道に沿う様に流れる玖珠川(後に筑後川となる)の奇勝、奇岩にみとれている中に、車はやがて頂上、水分峠につく。眼下には周囲を山々に囲まれた湯布院の街が見える。

ご紹介の「フォレスト デンタル クリニック」は商店街を通り抜け由布岳(町の各種表示にも由と湯の2通りあるが…?)に向かう山麓の別荘地内。院名通り、豊かな緑と小鳥がさえずる静かな森の中の歯医者さんといったイメージだ。

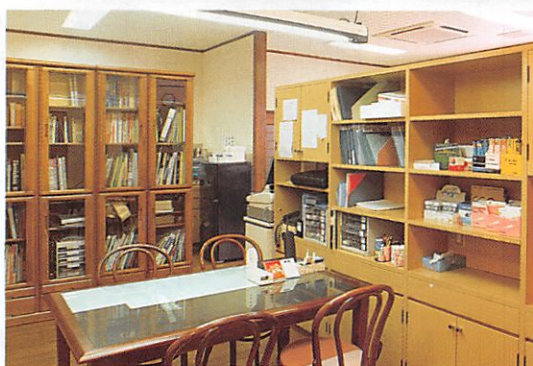
建物外観は濃グレーの屋根に白い外壁。駐車場からは丸太に砂利の階段。正面入口は鉄平石を敷いたゆるやかな昇り通路になっている。

待合室はもちろん木目の床。窓側にL字型の据え付けのコーナーテーブル、その前に椅子が4脚ほど並べられている。

通常考える受付は見当たらない。受付は診療室に入る前に置かれた向かい合わせのテーブル。初めは相談コーナーか休憩場所と思っていたが、テーブルの片隅に置かれた小さな「診療カード入れ」と書かれた箱をみて、ああ、ここが受付か、と気付いたほどだ。オープンカウンターとは言うが、これほどアツケラカンとした受付は初めてである。

その横、本棚兼カルテボックス脇ののれんで仕切られた中側が診療室。木々の緑とその先には山々が見える明るい窓面には濃淡グレーの<ファインGM>L型が2台並んでいる。つまり当院は、広い別荘のリビングルームを移動自由な本箱やキャビネットで仕切っただけという…。開放的と言えば、これほど自由で開放的な歯科医院はめずらしいのではないだろうか。それだけに来院される患者さんも歯科医院の持つ恐怖感も全くないようで、取材に訪れた我々に親しく話しかけて来る。

ところが院長は東京も下町のど真ん中、上野のお生まれ。高校・大学とも慶応ボーイとして過ごし、卒後はサラリーマンに。1年間勤めたが、心機一転、東京医科歯科大学に入学。平成元年3月同大を卒業。卒後は三井



記念病院歯科口腔外科で3年。更に先輩が経営される開業医のもとで1年勤務医を経験。今年1月此処湯布院で開業に踏み切られた。

スタッフはドクターの他、明るくハキハキとした印象の受付その他一切を取り仕切る奥様と、今日はいにく風邪の為お休みと言われた横浜で歯科助手生活6年を経験されたベテランアシスタント・佐々木美和さんの3人である。

Q：商社マンから何故一転歯科医師に？

院長：毎日がノルマ、ノルマの勤めに嫌気がさしたのでしょうか(笑)。もともと狭い日本を出て、カナダかオーストラリアに住みたいと思っていたんですが、その為には何か手に職をつけないければならないと、歯科大に入りました。

Q：で、何故湯布院に定住？

院長：妻が熊本出身でしたので、実家に遊びに行った帰り、やまなみハイウエーを走りこの街に泊まったのです。いいところだなーと(笑)。飛び込みで不動産屋に入り名刺を置いて来たら、半年後に連絡が来て、ピッタリのところがあると(笑)。

休みの日にはタラの芽を採ったり、野イチゴを摘んだり、昨夜はホタルを見に行ってきました。本当の豊さとはそういうものだ、と思っていますから…。

Q：で、経営の方は？

院長：まあまあというところですね(笑)。保険と自由が半々か、自由がちょっと多い位かですが、大分市まで2時間近くかけて行くよりは地元で、たとえ自費でもじっくり時間をかけてキチンとした治療を受けたいと思う方もおまして…。1人1時間から1時間半かけて話と診療、TBIも完璧に出来るようになってから治療に入るようにしています。

Q：患者数は？

院長：そんな訳で1日10人が限界。それ以上はお断りします(笑)。故に、レセプトも全部で50～60枚だけ。結構たのしんで診療しております(笑)。

Q：理想の診療ですね。

院長：総ての患者さんの口腔内写真を14～15枚撮り、スライド機にかけてテレビでゆっくり内容を説明してから治療に入ります。もちろん緊急の場合はその後になり



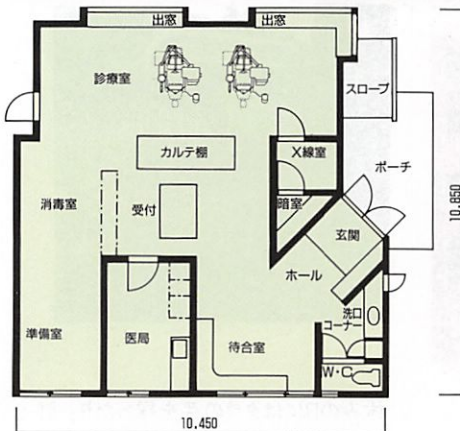
りませんから…。

Q：総てゆったり、敷地・建物はご自分で？
院長：土地は357坪。でもこの辺では狭い方なんです。総て借金。もうすぐ返済が始まりますから恐ろしいですね(笑)。

Q：助手の方は1時間近くかけて通勤とか？
院長：ええ、清潔好きで丁寧で、患者さんにも評判が良く、歯ブラシ指導など患者さんの方からやってもらいたいと言われる程です。助かっております。

Q：オサダの〈ファインGM〉。何故？
院長：大学時代の学生実習と1年勤務したところがオサダだったんです。とにかくメンテナンスが良いことが一番大切ですから…。ファインGMは掃除もしやすいし、滅菌等の消毒方面にも気を配ったユニットであることから選びました。

Q：将来は？
院長：老人ホーム等の施設や病院でお年寄りが活き活き生活出来る為のお手伝い、治療をやりたいと思っていますが、保険のみでこれだけ時間をかけてやることは難しいし…。ジレンマを感じています。現在は上をみればキリがありませんが、自費のみでの診療が理想ですから…。その為には設備、経験、そしてまず腕を磨かなければ(笑)、と思っています。



の自転車を置いていたりするんです。都会では考えられないでしょう(笑)。

Q：待合室も図書館みたいな雰囲気ですね。
院長：私が患者さんの立場で考えたら、人と顔を合わせて待つよりも、ゆっくり本でも読んでいた方が良くも思っていたことから、こうなりました(笑)。でも最初は15人位は診るつもりだったので作ったのですが、今は待つ患者さんはほとんどあ

ますが…。まだ開業してから数ヶ月ですが、恵まれていると思っています。

Q：奥様は？

院長：一般の大学を出て勤めていたんですが、私が開業することから、急速10ヶ月間歯科医院に修業に行ってもらいました。こうした場所での開業ですからスタッフが揃いにくいのではないかと…。もともと山登りで知り合った仲ですから、此処での開業には全く異存がなかった様で助かりました(笑)。

Q：診療室を作られるにあたっては？

院長：先輩が六本木で開業している医院が、受付もなく、患者さんもリラックスした雰囲気の診療室だったので、それを真似しよう(笑)。でもこれではあまりにもプライバシーがなさすぎるかなと、近々改装しようかと思っているんです。この辺りは観光名所である美術館への道路になっていることから、時々観光客がトイレや電話を借りに来られたり、又この先登れそうもないからとサイクリング用



診療室拝見 | SHIBUSAKA DENTAL CLINIC

しぶさか歯科クリニック

長野県下伊那郡高森町山吹 5860-2

院長 澁坂 崇



諏訪湖を源とする天竜川が木曾山脈と赤石山脈に挟まれた山麓をゆったりと流れる。それに沿ったように走る国道153号。ご紹介の「しぶさか歯科クリニック」はJR飯田線・山吹駅にほど近い、緑に囲まれた静かなその国道の角地に建っていた。

前面は車15台は可能と思われる広い駐車場。建物の診療室部分は写真でもおわかりと思いますが、採光部をより多くとの考え方からか、角面を多く作り、その上下を帯状の曲線で囲み柔らかなイメージを演出。玄関から待合室の部分は銅ぶきのグリーン色の三角屋根根に、庇の下には鏡が貼め込まれ周囲の景色を映すという、凝った作り。待合室内部も、中央にゆったりとした空間部をとり、広い窓面に沿って薄茶の待合用椅子、前面には3畳のタタミという、これ又申し分のない、明るく開放的で、くつろげる待合室に仕上げている。

診療室は、窓に沿って濃淡グレーのファインGMが3台、中央に曇りガラスを貼め込んだ扇状のセパレーションの間に並び、別室にも、将来時間をかけて治療される患者さん用にとのお考えであろう、1台設置されている。

都会地では考えられない、広々とした素晴らしい診療所は、建設会社を営むお父様が、若い設計士に依頼。ご長男のために建てられた力作のようである。

院長は平成元年、日本大学歯学部をご卒業。卒後は五十嵐孝義教授のもとで主にクラウンブリッジを3年間研修。その後都内と千葉で勤務医を経験。昨年4月、故郷にほど近い当地に戻り開業へと踏み切られた。東京・下町育ちの明るい応待が印象的な衛生士である奥様と礼儀正しいスタッフに囲まれての恵まれたスタートである。

Q：素晴らしい診療所ですね。

院長：ええ、お陰様で(笑)。父が建設関係ですので、色々と細部に亘って注意してくれまして、非常に助かりました。

Q：で、跡をつがず、何故歯科医師に？

院長：弟がつく予定でおりますから(笑)。理数系が好きなことから、父の勧めもあつ



て、この道に進みました。他人には親不孝者だと言われているかもしれませんが、父は内心喜んでいてくれるのではないかと思いますよ(笑)。

Q：患者層、患者数は？

院長：この辺りは兼業農家の方が多く、日中は主に農家の方、お年寄りが多いですね。夕方からは勤め帰りの方が圧倒的です。そうした関係から農繁期と天候によって患者数がかなり違って来ますが、平均しますと1日30～35人位。多い時で40名近くなります。

Q：土地、建物。資金はご自分で？

院長：ええ。自己資金は恥ずかしいのですがゼロ(笑)。総て借金です。これからは大変です(笑)。

Q：設計にあたってご留意された点は？

院長：待合室は、患者さんが不安な気持ちにならない様に広くゆったりと。お年寄りや子供さんの為に一角に畳の部分の設けましたが、若いサラリーマンの方々もくつろげるらしく、時々横になって寝ておりますよ(笑)。診療室共天井を高く、出来るだけ窓面を多く採り入れ、周辺の四季折々の景色が眺められるようにし

ました。都会地のテナントですと無理ですが、この辺りは田舎ですから(笑)。

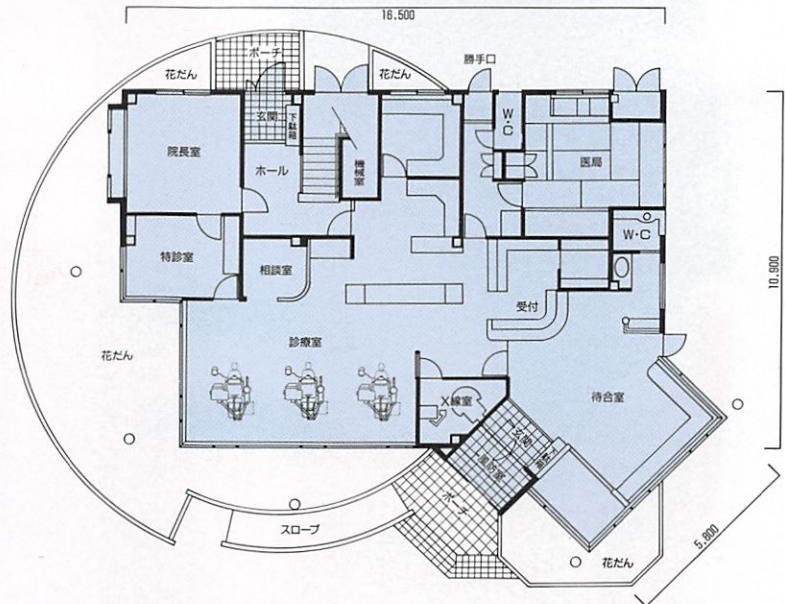
Q：ご経験はほとんど都会地。ギャップは感じられませんでしたか？

院長：ほとんどの患者さんは保険ですし、多少歯に対しての認識度は違いますが、田舎にはそれなりの良さがありまして、患者さんが花や野菜をいつも持って来てくれるんです。そうした人間的な心のつながりは都会よりずっといいですねー。

Q：この辺りでもやはり歯科医師過剰？

院長：ええ、歯科医1人当たり2,000人を切っておりますから、やはり過剰気味ですね。

Q：悩みは？



院長：やはり保険制度と自身の納得診療の差ですね。大学でもシビアなレベルで研修をして来ましたので、それを活かしたいと思いますが、色々な制約からなかなか無理なところがありまして…。今後は地元の先生方と共に地域の患者さんの啓蒙活動をして、レベルアップをはかって行きたいと思っています。

Q：ご自身の勉強は？

院長：最近久々に東京の友人と誘い合って講習会に行きましたが、やはり都会と違って気軽に行くことが出来ず…。友人がどんどん先に行っているようで、早く追いつこうとプレッシャーを感じております。又、その勉強を活かす治療を、講習会を受けながら患者さんの指導も同時に。その為にはまず患者さんに信頼されること。開業まもないので、あせらずじっくりやって行きたいと思っています。

Q：オサダのファインGMユニット、何故に？

院長：大学時代にオサダのユニットを使って、使い易かったことは覚えておりましたが、勤務医時代は総て他社製品でした。開業にあたって地元の友人に相談したと

ころ、やっぱりユニットならオサダが最も良いと言われ、ショールームに行きこのファインGMに決めました。ユニットの使い勝手は、どんな製品でもそれなりに慣れますが、最も大切なことは故障時の対処。アフターが良いことが一番安心ですから。

Q：将来は？

院長：まだ開業やっと1年を過ぎたばかりです。ので、あまり先のことはわかりません

が、患者さんの希望を汲んだ、患者さん中心の来やすい歯科医院になって行きたいと思っています。歯科医師になって良かったと思うことは、やはり患者さんから感謝される顔を見る時ですから、この気持ちをいつまでも忘れずにやって行きたいし、患者さんにやさしく自分に厳しくを、私自身の基本コンセプトとして今後も歩んで行きたいと思っています。



Z O O M で C L O S E - U P



腰原 好先生 の巻

東京歯科大学歯科補綴学
第二講座教授

高齢化社会に伴い車椅子やストレッチャーでの通院、又病院や家で寝た切りとなっているお年寄りが急増しつつある。そうした方々を豊富な実績とお人柄が信頼され、教育の傍ら、毎週老人医療センターに出掛けられ診療されている腰原先生を、東京歯科大学3階にある教室にお訪ねした。

今号は、東歯大の2年先輩であり、東京都老人医療センター歯科口腔外科部長を務められている渡邊郁馬先生のリレーにより腰原好教授にご登場頂いた。

「私と渡邊先生とは、確か昭和54年の春だったと思いますが、外国に視察旅行に出かけた時、欧米でも老人歯科医療を必要とする患者さんが増え、社会的にも関心が高まった頃でした。帰国後当病院に出張してくれないか、との話しかから、行くことになり…。以来13～14年、渡邊先生が務められている老人医療センターの補綴部門を担当し、今日に至

っております。」「老人にとって健康を取り戻すことは大切なことですが、中でも行動範囲が限られるお年寄りは、食事と会話が最大のたのしみの一つ。医科では手をつけられない歯科部門の責任は重いと痛感しております。——開業医のところへも、近年他に疾病をもつ高齢者が来院しておりますが、そうした方々を診療される時の注意事項は「緊張させることが最も良くないことで、とにかくリラックスにつとめること。ユニットに座ったらいきなり治療を開始しないで、やさしい言葉・会話を5分ぐらいして、リラックスして気持ちが落ち着いた頃を見はからって、ゆっくりと始めることです。印象を採る場合でも下顎から始め、上顎に。この手順は血圧の上昇率が少なく安全です。口を開けていると、唾液の心配や又トイレのことなど、色々な緊張で血圧は一気に3割ぐらい上がってしまうのです。それが引きがねとなって、他に疾病

を持つお年寄りの病状が急変する場合がございますから」。医科と違って簡単な作業（歯科医にとって）は麻酔もないまま、頭に近い部分を大きく緊張させる歯科治療。参考になるお話である。

お生まれは長野県の北アルプスの麓・池田町。展望にご登場頂いた千葉大学長の吉田先生とは親戚筋にあられると言う。歯科大に進まれたのは「父親の方針が先生か医者、との希望から、手先を使って何かを作ることが好きだったことから、歯科大に入学」と言われるから、今ではその双方を実現しているわけで、お父様もさぞご満足のことであろう。昭和35年当校をご卒業。——補綴を選ばれたのは？「そんな訳で、自分の長所を伸ばして行けたらと、手先を使う、特に人口臓器を



作ることが主体である補綴学を選びました。先年亡くなられた羽賀教授にはずっとお世話になりました。——補綴学の今昔。先生が学ばれた頃と較べていかがですか？「昔の補綴は一種の職人芸のような部分がありまして、切削も無麻酔でギリギリの所でサッと仕上げるのが上手な歯科医。下手な人が麻酔を使用するのだ、と言われてたり、補綴物も気合で作るのが大切だ、と先輩から教えられました(笑)。私の学んだ頃は、そうした職人芸が少しづつ科学的にときほぐれつつあった時でした。今後は、先日も接着歯学会に出席しましたが、良い接着剤や材料も開発されつつありますし、8020運動の展開と共に、老人イコール総義歯という時代ではなく、残存歯を対象とした、クラウンブリッジに重きがおかれる時代に入るのではないかと思います。そして勉強した知識・方式に従ってやれば、一定のレベルに達する補綴物を完成させることが出来る

時代に入りつつあります。それにプラス、社会的に益々要望が高まる審美的要求ですね。マスメディアの時代に、その人の特徴づけとして顔が前面に出ることが多く、顔の表情が商品化される時代になりましたから、アーティストとしてのセンスも必要になります。その人が持つ個性、内面的な部分も含めた補綴物を作る。そうした時代に入って来ていると思います。——国家試験に技術がなくなって久しくなりますが、教える立場からの先生のご意見は？「教える側から言えば、卒業時までには歯科医としての開業レベルまでは技術アップさせたいと思います。しかし国家試験がありますから、どうしても技術の習得はおろそかになりがちですね。技術試験の良否は難しい問題を含んでおりますので…。現在

は卒直後の研修で補充するようにしております。——インプラントにつきましては？「これからインプラントは増々発展し活用されていくものと思います。インプラントは、骨と直接結合し、自然歯のような歯根膜がない現状です。今後自然歯のような歯根膜を介在させる方向に研究が進むものと思います。

臓器を補充する方法にはインプラントのように人工臓器を用いる方法と移植法があります。医科の場合には、移植は提供者の生命にかかわるので慎重でなければならないが、歯の場合には28本あるので容易に移植が可能で、インプラントとならんで移植にも眼をむける必要があると思います。

大学は今のところインプラントには慎重派。卒業後、第2弾として学んで行くようにとの方針です。——ふり返っての人生は？「卒後大学に残り、色々なことがありましたが、先輩や後輩にも恵まれ、歩いて来た人生には全く後悔がありません。多くの人に支えられてここまで来たこと感謝しております。先述のように、老人歯科医療を長年ご経験されて来られた先生だけに、お話しぶりもゆっくり丁寧。こちらの緊張をほぐしてくれる。学生にもおそらく好印象となって伝わっていることであろう。

海外だより

World Health Organization

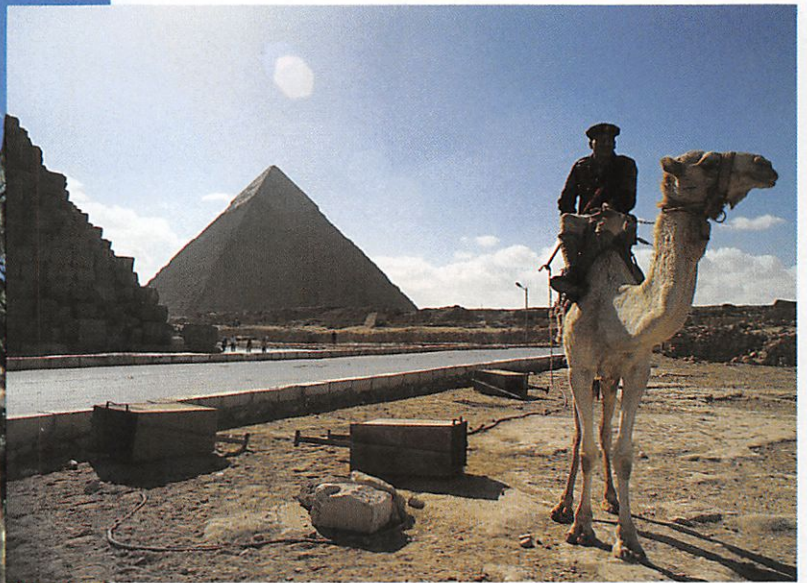
世界保健機関(WHO)の (エジプト・アレキサンドリア オフィス



ビジョンと、その実施 を訪ねて)



世界保健機関(WHO)のエジプト・アレキサンドリア オフィス



前号(当誌86号)でお知らせしましたが、今年はWHOが設立46年目にして、初めて「口腔保健年」と定め、世界的に口腔内の普及と啓蒙活動を展開している。我が国でも東京都歯科医師会が中心となり、7月8日～10日迄「世界口腔保健学術大会」を開催。歯科医師はもとより、都民に好評を博した。

そこで今号と次号はWHOの6つの拠点の一つ、エジプト・アレキサンドリアに飛び、WHOの活動や考え方をからめながら、現地を取材。海外だよりとしてお知らせいたします。



はじめに

世界的に、「ヘルス」が深い関心となってきたのは、大変結構なことと思う。ここで言う「ヘルス」は、体のことだけではない。「心」のヘルス、つまり懸念・不安・ストレスから来る精神的ヘルスも含まれている。両者はまことに関係深く、体の病はメンタル・ヘルスに影響を与え、心の病は「病気は気から」とか「イワシの頭も信心から——」といった表現が示唆する如く、体の病に大きく影響する。

世界的に各国協力し合ってヘルス問題の情報交換をし、情報・調査分析に基づいて、問題解決の方針をたて、その実施に当ることを目標に創立されたWHOの「ヘルス」の定義を聞いたら、「申し分のないヘルス状態とは、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にもへ

ルシーであること」、という返事が戻ってきた。

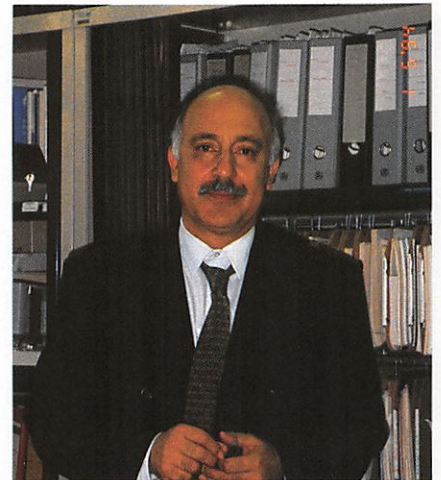
今回の取材は、世界6ヵ所に拠点を置くWHOの東地中海オフィス(エジプトのアレキサンドリア在)の代表者達の話に基づきお知らせいたします。特にお世話になったのはDr. Sayed Ali Hussein, Dr. Kew Khosh-Chashm, Dr. Mohit, そしてDr. Enaam Y. Abou Youssefである。

中近東の習慣かと思われるが、エジプトでは公式の呼び掛けも、姓ではなく名が使用される。それで私もこの文中で、サイエド・アリ・フセイン博士をサイエド博士とし、時には紙面節約で、S博士、他も同様とさせていただきます。

サイエド博士はオーラル・ヘルス、キュー博士は環境ヘルス、モヒット博士は心理ヘルス、イナム博士は看護開発——の責任者である。



Dr. Sayed Ali Hussein



Dr. Kew Khosh-Chashm

WHOの成り立ち

私は以前から、人類は人間1個と同じ、という想いが強い人間であるが、WHO創立前後の事情を調べている中に、益々この想いが強くなった。

数千年前、人類の幼少時代、人はどういうケガや病気には、何が効く、といった知識・情報は、体験で知ったり教えられたりで知恵を修得したわけだ。日々の戦いや食糧獲得に精一杯で、多分、進んで他の集団と知識を分け合う、という事態では無かったであろう。

それが近年、探検やら貿易を通して、他国との交遊が開け、やり取りも頻繁となった時代に、コレラや天然痘の発生となり、その伝染から自国民を守る為、初めて、国境を越えて、少数ながら諸国が情報・知識を分け合い、

共同して事態に当ることとなった。

この意味ある体験から、20世紀に入って初めて、諸国の政府が共同・協力し、自国民の単なる病状の治療だけでなく、色々な病気にかからぬ為にはどうすれば良いか、つまり政府レベルの「予防や病気への対策」の努力が誕生した、とってよからう。

ヘルス問題を世界の共有問題としてとらえ、世界諸国の協力を呼びかけた最初の機関はジュネーブ拠点の短命で終わった(1919～1946)国際連盟で、機関内に「ヘルス・オーガニゼーション」を設置までしていたが、多分そうしたことより自国の拡大や経済のみの発展。つまり知恵としては、ティーンエージャー時代位だった人類は、相変わらず陣地争い(第1と第2次世界大戦)にエネルギーを燃やす

ことに忙しく、この設立は失敗に終わっている。

一方、北・中・南米地域を焦点とした、「パン・アメリカン・サニタリ・オーガニゼーション」が1902年に誕生し、後日「機関」が「局」と変わり、現在では「パン・アメリカン・ヘルス機関」として知られている。

この機関は更に、WHO世界6カ所にある拠点のひとつ、アメリカ大陸の拠点として、ワシントンDCに在り、活躍している。

ちなみに、この機関に対するWHOの認識は、「姉機関」というものだ。

現在世界に知られるWHO組織設立(提案は、1945年の国連会議で、ブラジルと中国に依る)は、1946年に認可されたが、実施活動開始は2年後の1948年の4月7日となった。それで、毎年、4月7日が創立記念日として、「ワールド・ヘルス・デー」として祝われること

になった。

WHOは国連組織のひとつではあるが、管理、メンバーシップ、予算のすべてが独自の、全くの別機関である。

メンバー諸国数は、90年時点で166カ国と発表されており、雇用人数は4,500人となっている。雇用者の40%強が世界各国で、30%が地域拠点オフィスで、残りの30%がジュネーブのWHOヘッドクォーターで、仕事に従事している。予算は基本的にメンバー諸国の負担だが、その支払い能力に依り、25%負担する国もあれば、1%の負担、と様々だが、投票権は負担額に関係なく、1カ国1票となっている。又、予算の半分程が、外部からのボランティアによる寄付でまかなわれている。

WHOの目標

ビジョンとは、基本的に大変簡単なものだ。それでWHOのそれも、ひと言でいうと、「世界の人々(人類)にとって、可能な限りの最高レベルのヘルス達成」となる。

ビジョン実施段階で、話は気が遠くなる程、ややこしくなる。「ヘルス」の定義は…? 「最高レベル」とは、具体的に言うと、どういうことか…?

個人であれ、機関であれ、本気で事に当たる時、この思考過程——つまり、「どういうことを意味するか」を考え抜き、検討に検討を重ねる初段階、そして次の、「それではどうすれば良いか」の段階で、達した定義とそれに纏わる意味合いを噛み砕き、現実とピントを合わせて分類し、これ又その可能性と効果を考え抜いて達した各実施手段に、組み込んで、具体化する——、を避けることは出来ない。

初めにこの真摯な思考過程があったかどうか、は個人であれ機関であれ、その言語行動から如実に伝ってくるのは不思議なほどで、このひたむきな思考存在の有無が、その人、その機関の成長——つまり世で言う成功・不成功——を左右する、と言い切れると思う。

つまりビジョンとはあえて言えば「永遠的」なもので、その達成努力過程の諸段階をこなし、上げていく姿勢と活動の源、と言ってよからう。



ギザの大ピラミッドとスフィンクス

こういう視点からWHOを総体的に眺めると、その目標は考え抜かれたものであり、その目標達成手段も、当然のことながら、検討に検討を重ねてたどりついたものであることが分かる。つまり、これからの人類社会で、益々実績を積み、大きく、成長していくこととなる機関であることは間違いない様だ。

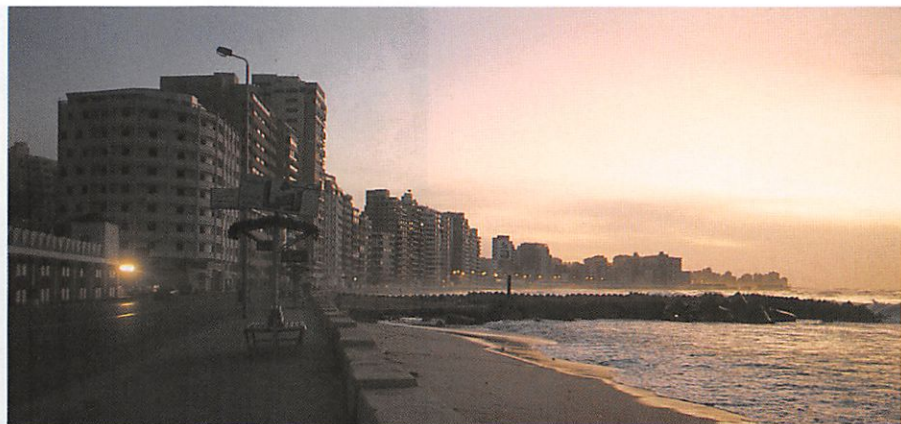
WHOは目標達成手段の各段階で、具体的に分かり易いテーマ、又はスローガンを使っているキャンペーン活動が多い。たとえば、「2000年迄に、全ての人々にヘルスを」等は、その良い例である。

これは1977年のWHOが決定した、その活動の焦点——2000年迄に、世界の人々が社会的にも経済的にも生産的の生活が出来るように、ヘルスのレベル向上を計る——に基づいている。これは、地球上から病気や身体障害の原因を抹殺するというのではなく、具体的には次のことを意味する。

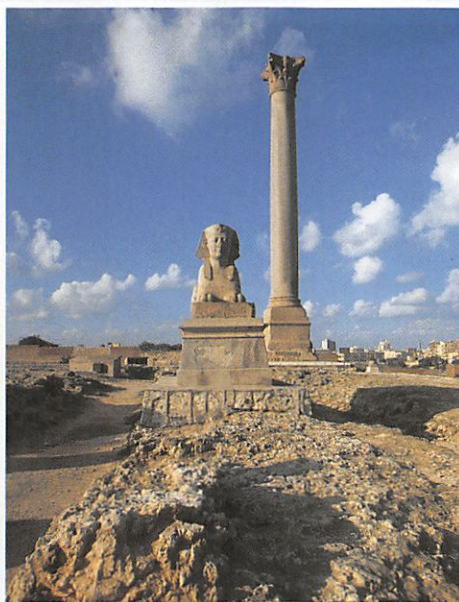
- ・ヘルスに必要な資源を公平に配布し、根本的ヘルス・ケアを、その共同生活体の全面的参加の下、全ての人々に行き渡らせる。
- ・ヘルスは家庭で、学校で、そして職場でまず始まるもの、という認識を徹底させることに依り、人々がケガや病気を避けるにはどうすれば良いか、と自発的に注意するよう仕向ける。
- ・そして人々が、病その他のヘルス問題を自ら考え、自己の人生や家族の生活設計に要するパワーは、自己の手中に在り、と目覚めるように仕向ける。

WHOの組織

WHOの基本的役割は2分野にわたり、ひとつは、国際社会のヘルス分野の権威機関として、国際ヘルス活動の指導・監督、管理、調整に当ること、今ひとつは、メンバー諸国内におけるヘルス分野の技術協力と調査研



アレキサンドリアの有名なコーニッシュ・ドライブの夜明け



ポンペイ・ピラー



エジプト唯一のRoman Theatre



究の促進、となっており、この役割の効果的実施を図って、WHO組織は次の3構成となっている。

・ワールド・ヘルス議会

主だった役割は、向う2年間のプログラム予算の可決と、重要方針の審議・決定。

その為、毎年5月にジュネーブ本拠で議会が開催され、全メンバー諸国から派遣委員が集合する。他の国際機関や、民間組織の代表も出席する。

・実行委員会

役割は、ヘルス議会の議題の準備と、議会決定事項や方針の速やかな運営を計ること。対象はWHOの総メンバー。

その為、少なくとも年2回——主要会議は通常1月に、短い会議はヘルス議会開催直後に——会議する。

委員会のメンバーは31人で、ヘルス分野で定められた資格を持ち、それぞれのメンバー国の指定者であること。

・事務局

4500人強のヘルス及びその他の専門・サービス分野のエキスパートが本拠ジュネーブ、地域拠点6ヵ所、世界各地で、WHOの活動に従事。

事務局長が最高行政官で、実行委員会の指名に依り、ワールド・ヘルス議会が任命。

ちなみに現事務局長は、1988年7月任命の中島博士(日本の薬理神経精神学者)で、過去の事務局長は、デンマークのDr. Halfdan Mahler(1973~1988)、ブラジルのDr. Marcolino G. Candai(1953~1973)、カナダのDr. Brock Chisholm(1948~1953)となっている。

WHOの大きな特徴は、地方分権で、世界6拠点に設置したWHOは、それぞれ地域オフィスと地域委員会から成り、地域オフィスにその特定地域の特性に適した方針の形式化及びその活動監督・調査の責任が課せら

れている。

同様に、多くの国々に駐在するWHO代表者に、その国の政府と協力して、国のヘルス・プログラムを企画・運営援助する責任が課せられている。

WHOの地域オフィスは、次の拠点に設置されている。

- ・ Eastern Mediterranean Region
Alexandria, Egypt
- ・ African Region
Brazzaville, Congo
- ・ European Region
Copenhagen, Denmark
- ・ Western Pacific Region
Manila, Philippines
- ・ South-East Asia Region
New Delhi, India
- ・ Region of the Americas
Washington D. C., USA

ヘルス・ケアの問題点

世界的に言うと、多くの国々が深刻なヘルス・ケア人材不足なのに、他の国ではそれらの人材が多すぎる。医者が首都に集中してしまっ、田舎ではどんなヘルス・サービスも存在しない、という状態が挙げられる。又、人々のヘルスに対する自覚のなさが、ヘルス・ケア施行を阻んでしまう。

「その国のヘルス・ケア・システムが効果的である為には、資格ある人材が存在し、大衆側に自主的動機がなければならぬ。この2つが無ければ、根本的ヘルス・ケアも、ヘルス分野の進歩もあり得ない」とWHOは言う。

オーラル・ヘルス分野でも、同様の不均衡が甚だしく、成熟社会では口腔衛生がどんどん良くなっているのに、発展途上国の虫歯や歯周病等は悪くなる一方だそうだ。

WHOに依ると、虫歯と歯周病が、人類に最も浸透している病気だという。世界総人口の50%から85%がこれに冒されており、先進国のヘルス資金の5%から11%が、この口腔の病気に費やされているという。

それで、ヘルス・ケアの専門家の25%は歯科医だそうで、こういう統計に今更の如く驚いてしまう。

こういう非常に説得力に満ちた情報があるのは、ひとえにWHOのお蔭である。「グローバル・オーラル・データ・バンク」用に、WHOはこれらの口腔の病の世界普及率をモニターしているからだ。調査手段のスタンダード記録システム、標準化した器具と材料のキットなども開発済みである。

人々の自覚を強力に促すことに効果的な現状調査・情報収集、そしてその配布もWHOの大事な活動ではあるが、それ以上にWHOは予防に力を入れている。「殆どの歯科の病は予防で発生を防げる。その一番の近道はフッ素を使用し、お砂糖の摂取量を減らすことだ。虫歯や歯周病の予防は、適切なハイジーンと、日ごとの努力……」「お砂糖」という言葉にふれた途端、私の頭と



いか、想いはエジプトの友人達に飛んでしまった。彼等は医療分野の専門家(全員博士号の所持者である)なのに、お砂糖摂取量は驚く程なのだ。

NYの私のアパートに立寄って、ホストの私が紅茶かコーヒーを出して、「お砂糖、どれ位? ストップと言ってね」と、スプーンで1匙、2匙と入れだして、4匙となっても「ストップ」がかからなかった記憶が鮮明だ。

7匙位になって、やっと、「ストップ」がかかって、私はマジマジと相手の顔を見つめたことを思い出す。

又、別の機会に、別の友人が夫婦でやって来た時の記憶も、昨日の様に鮮明だ。その時は、珍しく、私の手料理で歓待したのだが、ご主人の方が「塩」のピンを取り上げるや、何と5分位、私の手料理に塩を振りかけたのだ。

ヘルスに無関心な私も、この時ばかりは呆

れ返ったことを思い出す。彼は耳鼻科の専門医で、やはり博士号の所持者だった。「だった」と過去形で書くのは、案の定、2年後に、脳溢血が心臓麻痺で急逝してしまったからである。

何故こういうエピソードを、私は持ち出したのか?

WHOのビジョンは、やはり「永遠的」と感じるからである。

医療分野の専門家ですらこの具合だから、ましてや大衆レベルとなると、この嗜好を、「ヘルスの為に良いから——」と説得し、変えさせるには、永遠的努力が必然であろうという気がしたからである。(以下次号)

筆者紹介

岩本蘭子

ボストン大学大学院ジャーナリズム科卒業
ランコインターナショナル社長

とのぎ小児歯科



DENTAL SPACE

とのぎ小児歯科

千葉市美浜区真砂3-1-3

院長 外木徳子
(旧姓・佐草)

小児歯科専門ですが、0才から20才までと、年齢層が幅広いことから、診療室は出来るだけシンプルに、と考えました。

千葉県が20数年前、東京湾を埋め立てた広大な郊外住宅地を作り上げた海浜ニュータウン。その一角に、皆様もご存知のように移転した東京歯科大学。ご紹介の「とのぎ小児歯科」はその大学から徒歩で5～6分、大小様々なマンションと住宅地に囲まれた通りに面した中程にある。小児歯科を専門に診療される医院らしく、入口のガラスには動物のイラストとふき出し文字で“あつまれ、はみがきっず!”と書かれ、玄関脇にも可愛い季節の花々が来院者をやさしく迎えてくれている。

待合室は、入口を挟んで左側がプレイルーム。中にはぬいぐるみや絵本、大きなクッション等が置かれ、子供達の為に自由な空間を

提供、右側はサーモン色のやや小さ目の待合用椅子が置かれている。床は薄茶の市松模様じゅうたん。

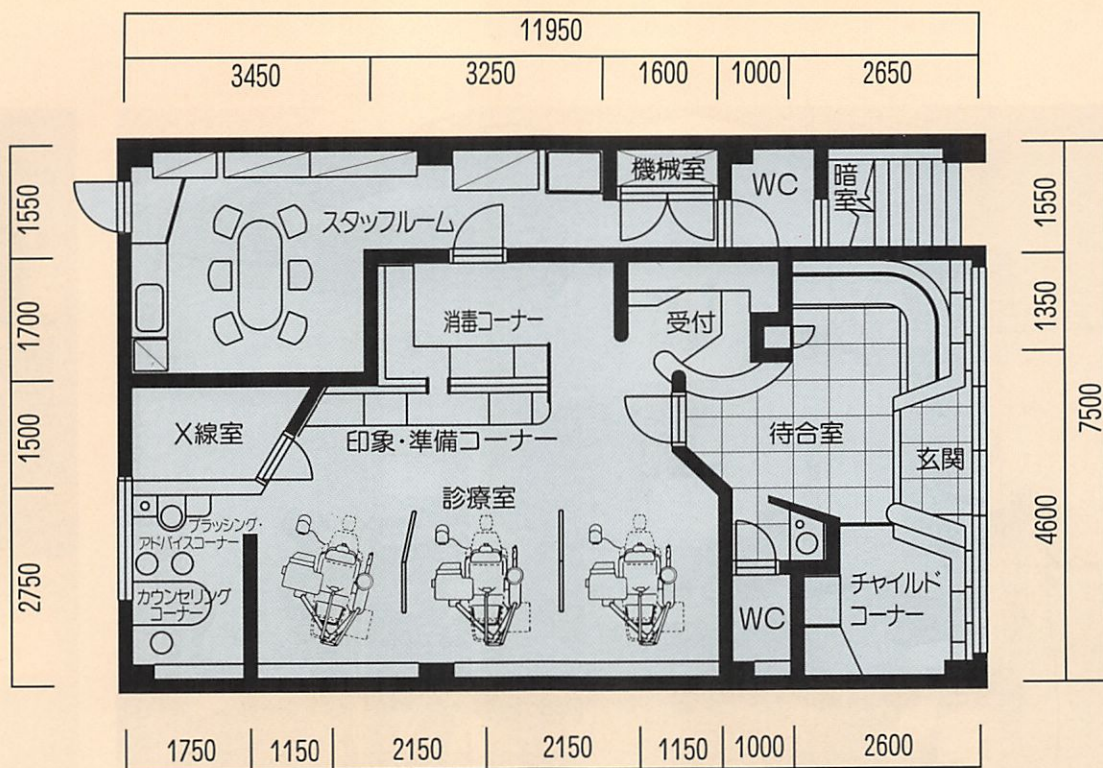
診療室は、浅黄色の床と壁。片側の壁に向かって濃グレーと浅黄のツートンカラーの<ファインGM>が、グレーと浅黄の中折れセパレーションに区切られ2台設置されている。それぞれのアーム上には<シンプルビジョン>が。室内の奥面は相談コーナー兼ブラッシングコーナー。ユニット背面は両面使用の消毒、器材入れキャビネットを設置。又、スタッフ用手洗いに、特殊電灯をとり付け、奥を暗室にも使用出来るようにしたと言われる効率ぶり。大学にも近く、理想の開業場所

のテナントゆえ、各部のスペースをゆったりとはいかないが、開業に必要な条件を総て揃えた動きやすそうな診療所である。

院長は昭和58年、東京歯科大学をご卒業。卒後は町田幸雄教授のもとで、小児歯科を11年間研修され、今年5月、母校に近い此処美浜区に開業。充分な経験と明るく朗らかな院長とスタッフ一同。そんな好印象が評判となっているようだ。

Q：小児歯科専門医としてご開業。今の心境は？

院長：小児専門だとやはり大変なわりには点数があがりませんね。だから将来は咬合誘導、予防管理を積極的に行ない、治療よりも健康管理の方に力がむけられるようになればベストだと思っています。でも近ごろ、また3才以下で重度のムシ歯の小児がふえている気がするので心配です。そういう子供の母親に聞くと、母



- 設計・施工：(有)東京ファニチャー ■開業：平成6年5月
- スペース：約90m²(約27坪) ■ユニット：〈ファインGM〉3台
- 診療時間：9:30～12:00, 13:30～18:00,
木曜＝9:30～13:00, 土曜＝9:30～16:00 ■休日＝日曜、祝日
- スタッフ構成：ドクター1名、衛生士・助手各1名、週3日衛生士1名
- 患者数：1日約25名



院長 外木徳子先生

乳を与えていた時期が3才までとか、2才半までとか長く、あらためて指導の必要性を感じているこの頃です。

Q：どんな方針で？

院長：町田教授から、子供の顎の管理は0才から始まって20才までしなければいけない。8020運動を達成するためには、小児からの習慣づけが大切。なって(ムシ菌)からでは遅いと言われてつけて来ましたから(笑)。その方針を貫いてやって行きたいと思っています。

Q：ご主人は？

院長：学生時代からずっとつき合っておりまして、58年の卒業時に結婚しました。現在は母校で野間教授のもと、口腔外科を専攻しております。協力は、医院に関しては全くナシ(笑)。でもオベが多く大変なわりには、家事その他は手伝ってくれますし、何より精神的な支えになってくれるのが有り難いですね。

Q：女医を志された動機は？

院長：実家は鳥根県松江市郊外の88代続く八重垣神社(出雲大社の親筋に当たる名跡)の宮司をしています。中学時代病気をしまして地元の医者をつずねたところ、手術をして治っても半身不随になると宣告されました。失意のどん底にあって、神戸大学に専門の先生がいらっしやると聞き、わらにもすがり気持ちで受診したところ、進行性でない軽度の側弯症なので1ヶ月間の治療で大丈夫という診断結果でした。ここで、医療は人の人生を大きく左右するんだなあと本当に心から思いました。だから私も大きくなったらしっかりと勉強して、本当に人の役にたてる医者になりたいと思い、東大に進み、小児歯科専門医をめざして町田教授のもとで勉強させていただきました。

Q：女医としてハンディを感じますか？

院長：いいえ、全く感じておりません。昔は

女より男の方が良かったと思っていましたが、今は女性の方がたのしみも多く、女に生まれて良かったと思っています(笑)。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：先程言いましたように、年齢層の幅が広いから、シンプルで気軽に入って来れる診療室にしたいと思いました。全体の





とのぎ小児歯科
しんさつ けん
 あつまれ はみがきずき!
 ☎043-278-5241
 千葉県千葉市美浜区真砂3-1-3

イメージは鋭角をなくし、なるべく丸味を。床材も、子供達が寝ころんだりするので、総て抗菌作用のあるものを使用しました。恩師町田教授は、タービンやバーを、たとえ手間や費用がかかっても総て滅菌をしなければいけないと、早くから実施された方ですので、私も開業にあたってはその教え通りにと…。費用はなかなかかきましたが、総てを患者さん中心に、と心掛けました。

Q：1日の患者数とスタッフ数は？

院長：1日およそ25人。スタッフは、常勤は私と衛生士1人、助手1人の計3人。週3日はもう1人衛生士さんが来てくれて



おりますが、ちょっと足りないかな、と思っています。

Q：お子様は？

院長：1人おりますが、小学校が隣りですので、終わりますと友達といっしょにスタッフルームに来て勉強したり、近所で遊

んだりしています。診療が終わりますと私と共に家に帰ります。ずっと目が届くというわけではありませんが、何かあったときに、すぐ相談にのれたり、対処できるので。このことがこの場所を選んだ第一の理由でした。あとスタッフも、子供がいるから…とせっかく能力があるのにやめてしまうことのないよう、できるだけアットホームな雰囲気をつくり、みんなで力をあわせて頑張っていこうという感じにしています。

Q：オサダの〈ファインGM〉。何故選ばれたのですか？

院長：以前から、開業するのならオサダと主人がずっと言っており、私もそう思っていました。友人、知人もメンテナンスの点で、すごく良いと皆さん言っていましたので、メーカーはオサダ以外考えませんでした。ファインGMは、操作し



歯科医院の新築・
改築・増築から
医院経営まで、
すべてわかる！

開業ガイド

〈主な項目〉

- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトチェックリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
 - これから開業される先生方へ
——オサダからアドバイス他
- 〈別冊付録〉 設備機械、器具、材料リスト



定価10,300円
(本体10,000円)

経営マニュアル

〈主な項目〉

- 開業準備の留意点
- 開業準備計画書/開業収支・資金計画書
- 歯科医院の節税戦略(青色申告)
特別経費・専従者給与・損益通算・特別償却・MS法人・医療法人
- 財テク・税テク 他



定価6,180円
(本体6,000円)

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株)／お客様センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)

やすいこと、形が子供から大人まで広く対処出来ることから選びました。

Q：最後に、後に続く女医さんのためにアドバイスを。

院長：女性は結婚、出産、育児等で開業するにあたって、いろいろと悩みますが、私の経験から言いますと、誰か必ず助けてくれる人が出て来ます。女性だからと躊躇せず、周囲をみながら、積極的にふみ出して行って欲しいですね。私の場合は、母校に近いことや恩師、友人知人に恵まれて、相談ごと等、良きアドバイザーに恵まれ、順調なスタートとなりました。また日ごろの診療に流されてしまいがちなところを町田先生の御配慮で、非常勤講師の道もひらいて下さり、常に大学とのつながりをもって勉強できる環境をつくっていただきました。皆さんには心から感謝しております。

〈設計・施工の立場から〉

今回、とのぎ小児歯科を設計するにあたって、まず私達(スタジオ・フラックス)はテーマを決めた。そのテーマとは「地球に優しい素材」〈患者さんに優しい診療室〉これは、具体的には、床材は抗菌性素材、壁材は防カビ素材等を取り入れたことである。

今後、歯科の設計にあたっては、前記の事柄を抜きには考えられないのではないかと。又、プランニングに対しては、患者及びドクター、スタッフの動線、平面上では表現しづらい空間のデザインをすることによって、〈優しさ〉を追求することが必要条件となる。

今回のとのぎ小児歯科内装工事はそういった私達の提案を取り込み、先生に理解していただいた診療室となりました。

(有)東京ファニチャー

高齢化社会を迎え、
チームを組んで、
主に身体障害者(児)の
歯科治療にと本格的な
外科手術を導入した開業医。

医療法人社団
橘田歯科医院

埼玉県浦和市前地3-2-2

院長(理事長) 橘田虎雄
副院長(常務理事) 橘田博純
小児歯科主任(理事) 橘田理映
口腔外科主任 石河信高
矯正歯科主任 篠原 親
麻酔科主任 福田謙一



高齢化する社会、それに伴って起こる寝たきり老人や身体障害者、又日常茶飯事化する交通事故等、我々の身の回りには常にそうした事故、疾病がつきまとう。従来は大病院で手当・手術をしたが、患者側からみれば、そうしたところへは、長時間待ちの外来や交通手段、又付添いの問題等で、家族の負担も並大抵ではないのが現状である。

今号のトピックスは、一般歯科を運営しながら、チームを組んで身体障害者の歯科治療及び口腔内の外科手術を導入した橘田歯科医院をご紹介します。

医院はJR浦和駅から徒歩で10分。商店街を右に折れた静かな住宅街の中、外壁にステンレスを使用した2階建の建物は一際目立つ。内部インテリアも壁面はグレーのタイル貼りに、床・受付が大理石という豪華な作り。1階部は一般歯科として日々の治療に使用されている診療室。壁面に沿ってパーソナーFXが7台並ぶ。ご紹介の手術室は2階に設置された無菌室状態に保たれた特別室。ユニットはパーソナーFX1台とオサダが口腔外科、身障者治療、麻酔治療等の患者用に発売している<STシステム>と呼ばれる組み合わせユニットが1台。傍らには大型の全身麻酔装置。天井には2台の外科用大型照射灯と、大学病院並の手術機器が設置されている。

この部分を使用されるのは副院長と専門医と妹さんの計5名であるが、まずは大先輩であられる院長先生に設置の動機と将来性、又現在のご心境を語って頂く。尚、院長は

東京医科歯科大学を昭和23年にご卒業され、25年に当地に開業。2年前まで県の歯科医師会の専務理事として多方面にご活躍された方である故、お名前をご存知の読者の方も多きことであろう。——開業医では少ない外科手術室を作られた動機は?「息子の勧めが多いんですが(笑)、これからの歯科医療



院長(理事長)

橘田虎雄

の流れを考える時、それぞれ特色を持った医院づくりが必要だと思います。現在、厚生省や県歯会も障害を持つ人や寝たきり老人の訪問診療に力を入れてやっておりますが、個々の患者の環境や背景によって総てカバーすることは出来ない状態。採算という意味では、良くない、というのが正直な感想ですし、外科はリスクも大きい。しかしそうした困っておられる患者さんの為に、誰かがやらねばなりません。14~15年前までは開業医ではとても出来ない状態でしたが、機器も技術も進歩向上した今、我々歯科医も自身の出来る範囲で、全力で地域の患者さんに奉仕するのが任務だと思い、設置に踏み切りました。でも手術は総て息子まかせ、私はもう年ですから、昔からの患者さんをのんびり治療しております(笑)。



副院長(常務理事)

橘田博純

副院長の博純氏は昭和58年に東京歯科大学をご卒業。そのまま同校の大学院に進み、更に卒後は解剖学講座の講師を務め6年前にお父様のもとへ。現在も同校の非常勤講師を務められているという努力・実力派。——どんな動機でこれ程本格的な手術室を作られたのですか?「大学・大学院と同級生であった石河先生が口腔外科が専門であることから、そうした患者さんの小手術をお願いしておりました。また矯正専門医である篠原先生に矯正治療をお願いしていたところ、外科的矯正が必要なケースが出てきましていっそのこと全身麻酔を採り入れた口腔外科、外科的矯正をやって行こうということになり、後輩である福田先生に麻酔を依頼、1年前に改造、設置しました」。——患者さんは?「一般の歯科医院からもありますが、周囲の公立病院や医科の先生からの紹介患者が多いですね。私は東歯大解剖学講座医局員時代に恩師井出吉信教授より、歯の治療だけに終始せず、全身から口腔を見たり、又口腔内から身体の状態を知る、ということが大切だと教えていただいたことから口腔は体の一部という認識をもっております。ですから社会からの



要望が強いこうした方向に進めたいと考えておりました。やっとその第一歩が実現出来た、と思っております。——採算面は?「これだけでは、とても採算は取れません(笑)。しかし一般歯科を含めた、医院全体として考えればペイ出来ます。2代目だから出来たと親には感謝しておりますし、一般歯科は今後もキチッとやり、それに付いした形で、私なりの方向を見い出して行きたいと思っております。

ご息女・理映先生は昭和60年に昭和大学歯学部をご卒業。医局で小児歯科を勉強されていたが、当時院長の仕事が忙しく、激務



小児歯科主任(理事)

橘田理映

のため体調を崩したことから、急遽実家に戻りお父様と共に診療生活へ。「当たり前のことですが、歯も身体の一部ですから、歯を治療しながら、患者さんの食生活から始まって日常生活全般についての良きアドバイザーでなければいけないと思っております。先日外来診療では限界のある障害児を全身麻酔下で治療致しました。ご両親は本人の苦痛を前に通院をあきらめておられた様子でしたが、一度で診療が完了したと非常に喜んでおられました。ただ私は小児を主にやっておりますが、健常な子供は多少の苦痛を経験しながら、訓練によって克服していく喜びや自信を身につけていくことが成長過程で大切な要素であると思っておりますので、全身麻酔で楽に治療、が最適だとは思っておりません。参考になるお話である。

——口腔外科を担当される石河先生、将来は?「私は東歯大で橘田先生を知り、大学院が口腔外科専攻ということから、最初の頃、小手術を依頼され治療しておりました。近く恵比寿で開業いたしますが、一般開業医では



口腔外科主任

石河信高

設備その他で限界がありますから、大掛かりな手術は今後も当院で続けていきたいと思っております。症例を重ねるうちに思うことは、手術後のケアですね。入院設備を持ち、完全回復まで面倒をみるのが大切ですが…。将来当院がそうした方向に向かうのであれば、今後共チームを組んで、各専門分野を当院で活用、名実ともに口腔内の総合病院としてやって行けたらいいな、と考えています。

矯正科を担当しておられる篠原先生は昭和大学歯学部をご卒業された矯正医。先生に



矯正歯科主任

篠原 親

お尋ねすると——「現在単なる矯正だけで正常咬合が完成すると思われる方も多いのですが、外科的矯正をしなければ正常にならないケースが多々あります。又それがわかった場合でも現在、そうしたケースは大学病院等を紹介し手術をしておりますが、手術法によっては、設備が整っている当院でも治療出来ると考えます。一般歯科と共に外科を採り入れた矯正。皆さんも出来る範囲で、そうしたことを学び、自院に採り入れ、より信頼性の高い歯科医院へと成長して行って頂きたいと思っております」。

歯科医師のあり方が今大きく変わろうとしている。歩む道は苦勞の連続かも知れないが、その達成を目指して…。国民と共に期待したい。



アシスタント紹介



宮崎歯科医院

鳥取県鳥取市吉成 2-14-31

院長 宮崎 章

副院長 宮崎志保子(旧姓・中尾)

池口美由紀さん

藤原 律子さん

松岡 良枝さん

田中 美鈴さん

仲谷 雅代さん

下田 智子さん

出雲谷嘉代さん

鳥取駅から車で6～7分。東西に走る県道292号線筋に、スペイン瓦に白い外壁の、双子のような建物2つがパッと目にとまる。一方がご紹介の宮崎歯科医院。もう一方はお兄様が経営される内科の医院である。お話によると懇親会や対抗ボリング大会等、両院の交流も活発のようで、スタッフはもとより、患者さんにとっても好都合な医療環境下にあると思われる。

待合室に入ると壁に“当院は担当衛生士制の予約診療を行っております。各患者さんの担当者の都合により、多少待ち時間が異なる場合があります。…後略”とある。ドクターによる担当医制は時々聞くが、衛生士による担当予約制はめずらしい。

こうした環境が衛生士にとっても“やる気”をひき起こしているのであろう。女性の職場としては、皆さんの勤務年月が驚くほど長い。

まず最初にご紹介する池口さん。鳥取県立歯科衛生士専門学校を卒業後すぐ当院に。以来11年。ベテランである。——こんなに長く勤められた原因は？「入った頃は2～3年でやめるつもりでしたが、月日がたつにつれ

て、仕事があたのしくなったことと、女性は家庭をもちますと、子供の病気や地域・学校での活動等でどうしても休まなければならない時があります。そんな場合、院長、副院長先生が快く理解してくれますので…。もちろん主人も主人の実家の方々も協力的ですが(笑)。そうしたことが長く勤められた原因でしょうね。あっという間の11年でした(笑)。

仲谷さんも今年11年を迎えるアシスタントさん。「魅力はやっぱり先生がやさしいことです。家庭の事情で衛生士学校に行けなくて、助手として此処に就職しましたが、全くわからない私を、先生が丁寧に初めから教えてくれました…。車で40分かけて通勤していますが、毎日がたのしいですね。この仕事は奥が深く、まだまだ勉強することが多いのですが、私って習ってもすぐ忘れるから(笑)」。笑顔の明るいアシスタントさんである。

藤原さんも池口さんと同じ衛生士学校の同窓生。卒後当院で既に8年。——長いですね。「でも、診療室内の女性では一番若いですよ(笑)。此処は先輩、後輩の隔たりが全くなく、皆友達という感じですから、仕事もやり

やすいし、今まで他院に移ろうと思ったことは全くありませんでした。子供が1人おりますが母が面倒をみてくれますし、主人も協力してくれますので、出来たらこのままずっとここで続けて働きたいなと思っています。

下田さんはこの道20年。当院に入って開業以来12年の大ベテランの衛生士さんである。——衛生士としての職業感は？「長いから聞かれると思った(笑)!。奥が深く、やりがいのある職業だと思いますが、今後は高齢化が進みますから、口腔内だけでなく、衛生士が看護助手も兼ねられるような免状のようなものを頂けたら、もっと活躍の場が広がるのではないかと思います。それと家庭を持つとせっかく資格を取ったのにやめてしまう方が多いのは、時間ですね。院長の理解と家庭内の協力がなくては女性は長く勤められません。その点当院は院長・副院長の理解とメンバーが多いことから、お互いに助け合うことが出来ますから…。年月は長くても医療は日進月歩、若い方から教えてもらうことも多いんですよ(笑)。やはり大ベテラン。笑顔を保ちやすさで落ち着いたお答えである。



松岡さんは受付担当で既に6年。——気を付けていることは？「1日60～70人の方が来院されますが、玄関に入った時、患者さんより早く、挨拶の言葉をかけることです。それと診療室内の状態と患者さんとの間に立って。特に急患の場合は、予約が優先なので、苦痛を訴える患者さんを前に、誰に伝えようかと困ってしまう場合があります」。「以前は2人でしたが、今は1人で…。忙しいけれど、月末や月初めの保険の計算等もやっこなせるようになりました」とニコリ。笑顔の可愛い受付さんである。

今号は、表題はアシスタント紹介であるが、美人の技工士さんが2人おられるとのことで、特別、技工士さんにもご登場頂くこととした。

出雲谷さんは鳥取歯科技工士専門学校を卒業されすぐ当院の技工室へ就職。今年7年目を迎えられる。——技工士を選んだのは？「どちらかという口下手で、1人でコツコツ

仕事をするのが好きな方ですので(笑)。叔父さんに勧められ技工士学校に進みました。患者さんには直接会わないんですが、衛生士さんから、貴方が作った歯がピッタリと合って、喜んでいたら、って聞くと、この職業に就いて良かった、と思いますね。2人子供がおりますが、家族が元気でさえあれば、この仕事をずっと続けて行きたいと思っています」。

田中さんも出雲谷さんと同じ技工士学校を昨年卒業されたばかりのホヤホヤ技工士さん。——動機は？「初めは衛生士になろうと思っていましたが、昔から先手の仕事が好きなことから高校の先生から勧められて入学しました」。「この仕事は患者さんの顔が見えませんから、どんな人なんだろうって想像しながら作るのがたのしいですね。特に前歯は目立つでしょ。良かったわよ、って聞くとうれしいですね。6時半には終わることが出来ますので、結婚後も続けて行かれそうです」。院長推薦の(?)技工士さん。言葉通りの美人である。



<院長 & 副院長から一言>

宮崎 章

「患者さんの背景や生活状態を知るのには、むしろドクターより衛生士の方が相手も話しやすいし、把握出来るとの考え方から、担当衛生士制を採っております。皆さん長く勤めてくれておりますが、こうした対応はベテランでない出来ませんし、それが責任となって、やりがいに通じているのではないのでしょうか。当院の宝です」と院長。



宮崎志保子

「私が女医であることから、男性には言いにくいこともミーティングや会食の時、皆さん話してくれます。私も仕事を離れば女性同士の友達感覚ですから…。長いキャリアは当院にとっても貴重ですし、患者さんにとっても良いことではないかと思えます。チームワークも良く、皆さん頑張ってくれていると感謝しております」と副院長。

アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機器・機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※ご希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業㈱/お客様センター
〒141東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)



術前・術後の説明はむろん、
カメラで義歯の製作過程まで撮って見せたり、
多方面に活用しております。
操作も簡単で、説得力もあり、いいですね。

石川歯科医院

千葉県船橋市習志野台8-1-22

院長 石川忠雄
(東京歯科大学卒・30才)

副院長 石川 仁
(東京歯科大学卒・26才)



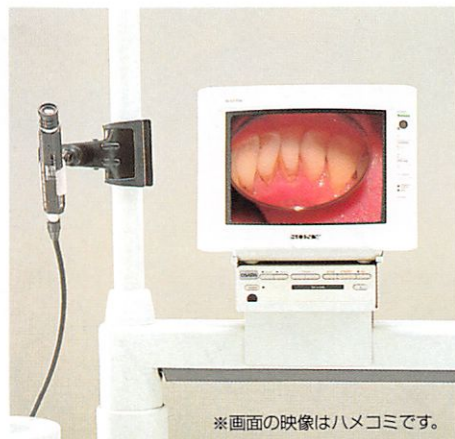
総 武線・津田沼駅から車でおよそ15分。成田方面に向かう国道296号線沿いに、広い駐車場とゆったりとした3階建の診療所を有し建つ石川歯科医院。内部インテリアも若いお二人が将来を考え設計されたらしく、柔らかな色調を使っただけで都会風に仕上げている。
院長は大学卒業後東京・渋谷で勤務医を経験後、昨年5月、生まれ育ったこの地に帰り開業。
副院長は大学卒業後、現在母校の市川総合病院に残り研修を積みつつ、

お兄様を手助けされている様子。2〜3年後には兄弟揃って、お互いの専門を活かしながら地域住民に奉仕して行きたいとお話。「高齢化社会を迎えるにあたって、患者さんにも他に疾病を持った方々が来院されますので、弟にはオーラルメデイシンを中心に、全身から口腔を診る勉強をしてもらっています。私も歯科一般の治療はもちろんですが、口腔内疾患から時代のニーズに合わせた審美歯科まで、総合的な歯科医院づくりを目指して、頑張っていくつもりです」。秀才肌の院長。明るくスポーツマンタイプの副院長。人生の舞台の幕は上がったばかりだが、お互いの個性を活かしながら活躍される日も間近であろう。

◇ 以前は手鏡やカメラを使って術前・術後の説明をしていましたが、今は総てこのヘシンプルビジョンでやっております。扱い方も簡単ですし、患者さん説得の為の義歯の製作過程まで撮って見せたり、その他多方面に活用しておりますが、評判はいいですね。

オサダ シンプルビジョン

東用第122号



※画面の映像はハメコミです。



タービンの切れはもとより、
消毒面にも気を配った
＜ファインGMD＞RLタイプ。
特に手術を要する患者さんには
安心して使用出来ます。

医療法人 尚和会
塩田歯科医院

香川県仲多郡琴平町156

院長 塩田尚文

(東京歯科専門学校卒
・現東京歯科大学・71才)

副院長 塩田康博

(東京歯科大学卒・40才)



土

讃線・琴平駅から2〜3分。商店街アーケードの入口近くの交差点角に建つ塩田歯科医院。ゆったりとした広い敷地にコの字型に建物を配し、診療室から中庭の手入れのいき届いた季節の木々と花々が眺められるように作られている。20年前当誌で紹介したが、当時学生だったご子息康博氏が現在は医院のリーダーとなり、院長を補佐しつつ、次代に向かってご活躍の様子。「名前は私が院長ですが、実質は息子が総てやっておりますから。…」といわれることから副院長に話を。「卒業後東京・霞ヶ関にある納富先生のところへ学び、15年前に戻って来た頃は、地域差からくるギャップと自身の技術の狭間で悩みましたが、今やつとそれを少しづつ実現出来るようになりました。父はもとより、義兄や姉も各地で頑張っておりますので、時にはプレッシャーを感じますが(笑)、私なりの方向、医院特色を出して、3代目として恥ずかしくない医院に行きたいと思っています。「昔と違って、多勢のスタッフで大々的にやる時代は終わりましたから、今は少しづつ絞り込んで、内容充実、経営は気軽に、という方針でやって行きたいと思っていますが、まだまだ院長に助けられているというのが実状です(笑)」。真面目で誠実なお話し振りは、そのまま好印象となつて患者さんにも伝わっていることであらう。

父の代からずっとオサダですから買換えに際してメーカーはオサダ以外考えませんでした。ファインGMD<RLタイプは、タービンの切れも良く、消毒面にもよく気を配つてあるユニットですから、特に手術を要する患者さんには安心して使用出来ます。



OSADA
Fine GMD RL233LL
製造承認番号 03B第0326号

